

和歌山病院での実習を終えて



殿元 静馬

呼吸器内科の実習中に、一泊二日で外病院に行く、と初めて聞いたとき正直に言って少し面倒だなと思っていました。呼吸器内科の回り始めでもあったし、どんな事をするのかわかっていなかったからです。先に呼吸器を回った友人たちが、楽しかったと皆言っていましたあまり信じていませんでした。そういった訳で初めはあまりこの実習に乗り気ではありませんでした。ただ、実際に実習に行ってからだと、この実習はとても有意義であったと思います。一番良かった事はやはりレントゲンの読影を教えて頂いたことです。レントゲンは正直ずっと苦手で、レントゲン所見を言え、と言われてもあまりちゃんとわからず、その疾患を調べて、レントゲンにはどのような症状が出るかを知ってから当てはめていました。だから正常写真を出されても疾患を教えてもらえなければ、それが正常かどうかわからない状態でした。だから先生にレントゲンの読影法を本当に最初の最初から教えて頂いてよかったと思います。まだまだ個別の疾患の所見などは勉強しなければいけないですが、正常レントゲンを正常と言えるまでには成長したと思います。

勉強した後お食事に連れて行っていただき、そこでもこれからの事やどんな医者になるかなどの話をしていただきました。おいしいご飯を食べながら、ためになる話も聞けてとてもよかったです。

実習についての悪かった点は特にありませんが、強いて言うなら一泊二日ではなく二泊三日であったならもっと色んなことを学べたかなという点と個室の部屋についているクーラーの音がすごくて眠れなかったという事です。

とても有意義な実習であったので、先生方はお忙しいと思いますが、これから先も続けてほしいと思います。